

平成24年3月期第2四半期 決算短信補足資料

平成23年11月10日

丸大食品株式会社

URL <http://www.marudai.jp>

◆ 平成24年3月期上期 連結業績	P.2
◆ 平成24年3月期上期 セグメント別 連結業績	P.3
◆ 連結財政状態	P.4
◆ 平成24年3月期上期連結業績のポイント	P.5
◆ キャッシュ・フロー	P.6
◆ 24年3月期通期 連結業績計画	P.7
◆ 24年3月期通期 セグメント別 連結業績計画	P.8
◆ 平成24年3月期 主力商品紹介	P.9

平成24年3月期上期 連結業績

■売上高■

計画は下回ったものの、内食回帰の傾向のなか、加工食品事業の売上が伸びたことから、前年比1.5%の増収。

■営業利益■

原材料・燃料価格の高騰、食肉事業の収益性低下のなか、事業全般にわたるコスト削減効果などにより、前年比2.1%の増益。

■当期純利益■

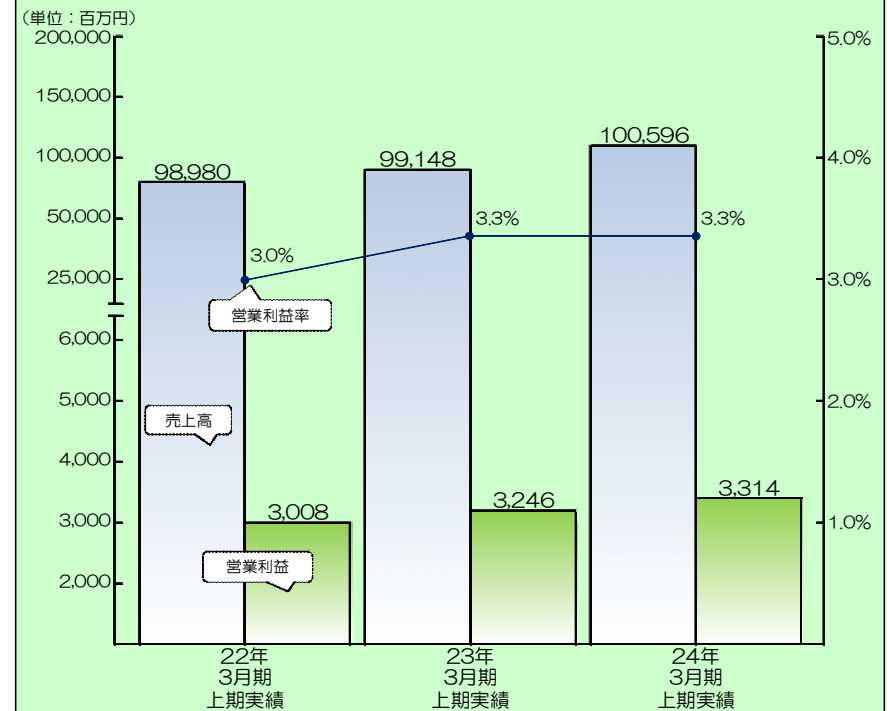
前年比1.4%増の増益。

(単位:百万円)

	23年3月期 上期実績	24年3月期 上期計画	24年3月期 上期実績	前年比		計画比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	99,148	101,000	100,596	1,448	1.5%	△ 404	△0.4%
営業利益	3,246	3,300	3,314	68	2.1%	14	0.4%
(売上高比率)	(3.3%)	(3.3%)	(3.3%)	(0.0%)	-	(0.0%)	-
経常利益	3,282	3,300	3,380	98	3.0%	80	2.4%
(売上高比率)	(3.3%)	(3.3%)	(3.4%)	(0.1%)	-	(0.1%)	-
四半期純利益	2,695	2,700	2,734	39	1.4%	34	1.3%
(売上高比率)	(2.7%)	(2.7%)	(2.7%)	(0.0%)	-	(0.0%)	-
1株当たり 四半期純利益	20.38円	20.78円	21.05円	0.67円	3.3%	0.27円	1.3%

※計画:平成23年5月12日発表連結業績予想

売上高と営業利益の状況



平成24年3月期上期 セグメント別 連結業績

(単位:百万円)

	23年3月期 上期実績	24年3月期 上期実績	前年比 増減額	前年比 増減率
加工食品事業	72,790	74,616	1,826	2.5%
ハム・ソーセージ	43,129	44,404	1,275	3.0%
調理・加工食品	29,661	30,212	551	1.9%
食肉事業	26,145	25,779	△ 365	△ 1.4%
その他	212	200	△ 12	△ 5.8%
連結売上高	99,148	100,596	1,448	1.5%
加工食品事業 (売上高比率)	2,984 (4.1%)	3,125 (4.2%)	141 (0.1%)	-
食肉事業 (売上高比率)	177 (0.7%)	101 (0.4%)	△ 76 (△0.3%)	△ 42.9%
その他 (売上高比率)	84 (39.6%)	87 (43.5%)	3 (3.9%)	3.6%
営業利益 (売上高比率)	3,246 (3.3%)	3,314 (3.3%)	68 (0.0%)	2.1%

■加工食品事業■

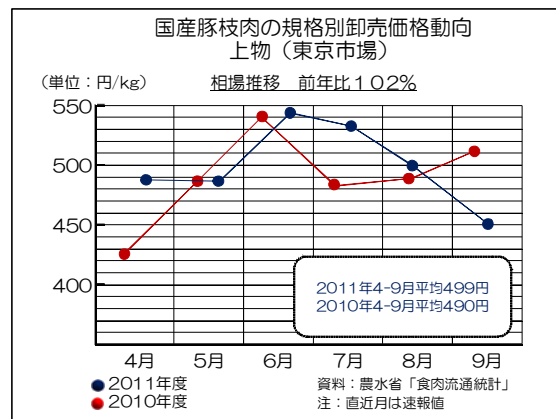
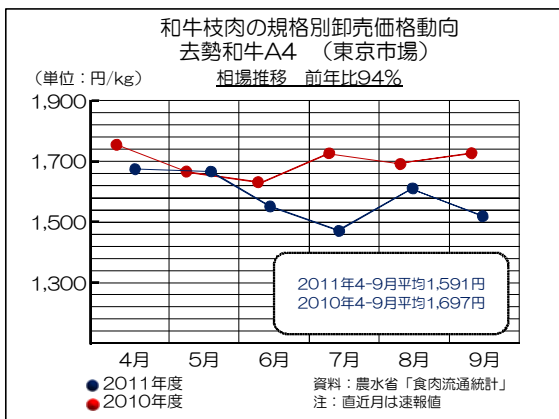
・震災後の内食回帰傾向のなか、ハム・ソーセージ部門は、主力のロースハム、ソーセージ類、及び中元ギフトの売上が堅調に推移し、当部門の売上高は前年比3.0%の増収。
(中元ギフトは、数量ベースで前年比7.6%増)

・調理・加工食品部門は、韓国風チゲ「スンドゥブ」「旨味工房カレー」などのレトルト商品、デザート、飲料、ヨーグルトなどのデ일리商品の売上拡大に努めたことなどにより、当部門の売上高は前年比1.9%の増収。

結果、当セグメントの売上高は前年比2.5%の増収。

・営業利益は、原材料・燃料価格の上昇によるコストアップ要因に対し、売上高の増加や経費削減効果などにより、前年比4.7%の増益。

資料：枝肉規格別卸売価格動向



■食肉事業■

・牛肉は、米国産牛肉の拡販により販売数量が増加したが、セシウム汚染の影響などにより国内相場が急落し、売上高は低迷。

・豚肉は、相場の高止まりにより販売数量が減少し、苦戦。

結果、当セグメントの売上高は、前年比△1.4%の減収。

・営業利益は、豪州産牛肉販売の収益性低下などにより前年比△42.9%の減益。

連結財政状態

(単位:百万円)

	23年3月期	23年3月期	24年3月期	前期末比 増減額		23年3月期	23年3月期	24年3月期	前期末比 増減額
	第2四半期末	期末	第2四半期末			第2四半期末	期末	第2四半期末	
現金及び預金	8,946	13,619	13,821	202	仕入債務	19,541	18,178	19,575	1,397
売上債権	21,037	19,921	21,220	1,299	有利子負債	22,575	22,949	21,217	△ 1,732
棚卸資産	17,672	14,596	15,051	455	その他の	10,484	11,267	11,785	518
その他の	2,289	2,496	3,214	718	負債合計	52,602	52,394	52,578	183
流動資産合計	49,945	50,633	53,308	2,675	株主資本	61,462	61,982	63,677	1,694
有形固定資産	51,468	50,381	49,362	△ 1,018	その他の包括利益累計	1,093	1,414	1,030	△ 383
無形固定資産	978	826	701	△ 125	少数株主持分	1,185	1,313	1,556	242
投資その他の資産	13,951	15,264	15,468	204	純資産合計	63,742	64,710	66,263	1,553
固定資産合計	66,398	66,471	65,532	△ 938	負債純資産合計	116,344	117,104	118,841	1,736
資産合計	116,344	117,104	118,841	1,736					

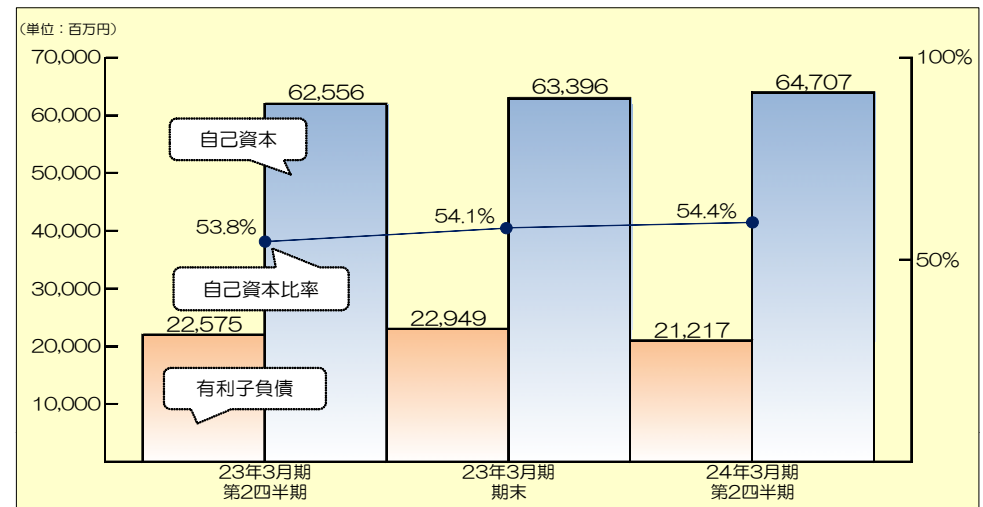
※有利子負債 = 借入金 + リース債務

■設備投資・減価償却費の状況■

	23年3月期	23年3月期	24年3月期	前年同期比 増減額		23年3月期	23年3月期	24年3月期	前期末比 増減額
	上期	通期	上期			第2四半期末	期末	第2四半期末	
設備投資	1,647	4,535	2,291	644	自己資本	62,556	63,396	64,707	1,311
減価償却費	3,008	6,206	2,888	△ 120	自己資本比率(%)	53.8%	54.1%	54.4%	0.3%
					D/Eレシオ(%)	36.7%	37.0%	33.3%	△3.7%

※D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 株主資本

- ◆総資産は、売上債権、棚卸資産の増加などにより、前期末比1,736百万円増加。
- ◆負債は、有利子負債が減少したが、仕入債務の増加などにより、前期末比183百万円増加。
- ◆純資産は、四半期純利益の計上などにより、前期末比1,553百万円増加。
- ◆以上の結果、自己資本比率は、前期末比0.3%上昇。



平成24年3月期上期連結業績のポイント

(単位:百万円)

	23年3月期 上期実績	24年3月期 上期実績	前年比 増減額	前年比 増減率
売上高	99,148	100,596	1,448	1.5%
売上総利益 (売上高比率)	26,200 (26.4%)	26,102 (25.9%)	△ 98 (△0.5%)	△0.4% -
販売費及び一般管理費 (売上高比率)	22,953 (23.2%)	22,787 (22.7%)	△ 166 (△0.5%)	△0.7% -
営業利益 (売上高比率)	3,246 (3.3%)	3,314 (3.3%)	68 (0.0%)	2.1% -
営業外損益	36	66	30	-
経常利益 (売上高比率)	3,282 (3.3%)	3,380 (3.4%)	98 (0.1%)	3.0% -
特別損益	△ 309	△ 170	139	-
特別利益	236	32	△ 203	-
特別損失	546	203	△ 343	-
税金等調整前四半期純利益	2,972	3,210	237	8.0%
法人税等	24	226	202	-
少数株主利益	253	249	△ 3	-
四半期純利益	2,695	2,734	39	1.4%

増 減 要 因

◆売上総利益

原材料・燃料価格の高騰、食肉事業の収益性の低下から、売上総利益率が0.5%低下し、前年比△0.4%(△98百万円)の減益。

◆販売費及び一般管理費

経費削減により、前年比△0.7%(△166百万円)減少。
対売上高比率も22.7%と前年比△0.5%低下。

	24年上期実績	前年比増減額	前年比増減率
人件費	6,805百万円	△153百万円	△2.2%
配送費	10,662百万円	428百万円	4.2%
その他	5,320百万円	△441百万円	△7.7%

◆営業利益

前年比2.1%(68百万円)の増益。

◆営業外損益

金融収支の改善50百万円等により、前年比30百万円の増加。

◆特別利益: 前年比△203百万円減少。

・固定資産処分益 13百万円(△223百万円減少)

◆特別損失: 前年比△343百万円減少。

・固定資産処分損 127百万円(22百万円増加)
・減損損失 74百万円(△249百万円減少)
・その他損失 1百万円(△116百万円減少)

キャッシュ・フロー

◆営業活動によるCF

・税金等調整前四半期純利益の計上などにより5,222百万円増加。

◆投資活動によるCF

・生産設備の増強・合理化や品質安定の為の固定資産取得による支出などにより△2,198百万円減少。

◆財務活動によるCF

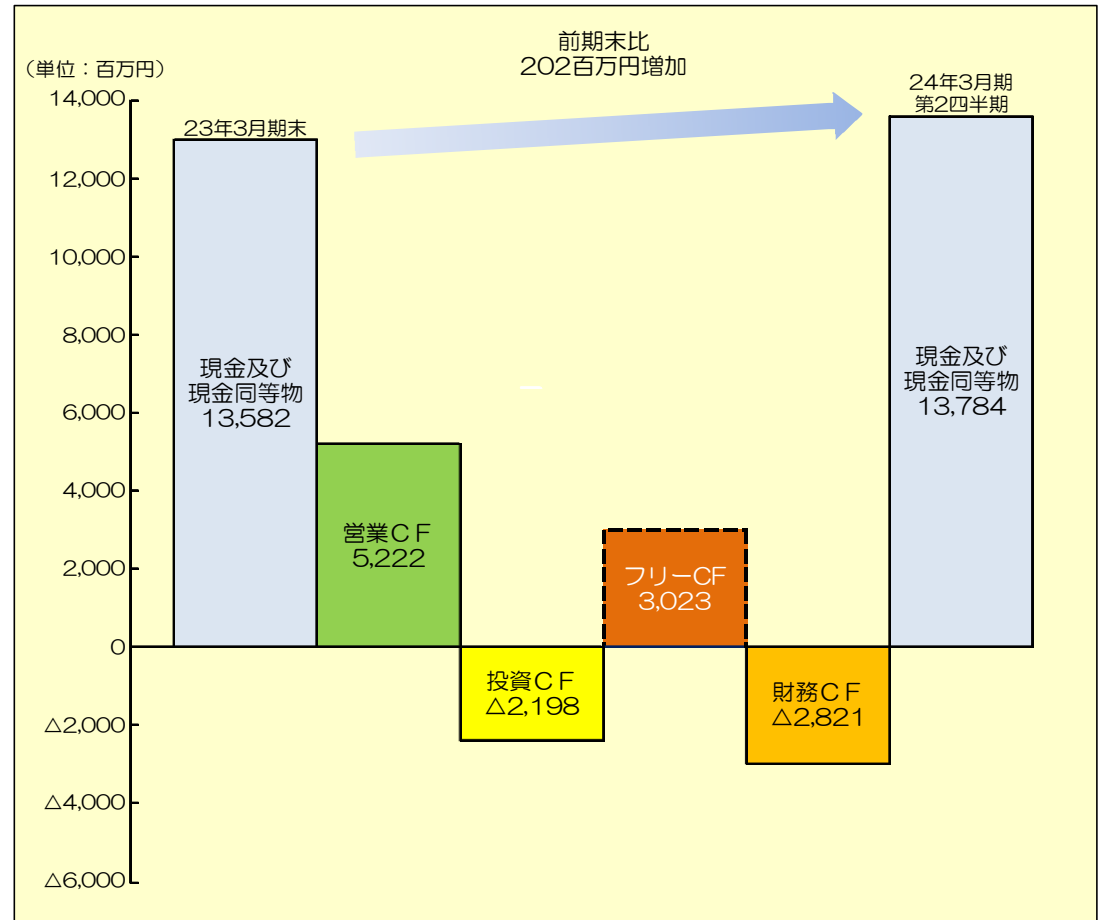
・有利子負債の返済や配当金の支払いなどにより△2,821百万円減少。

(単位:百万円)

	23年3月期 第2四半期	24年3月期 第2四半期	増減額
営業活動によるCF	2,040	5,222	3,181
投資活動によるCF	△1,310	△2,198	△887
フリー・キャッシュ・フロー	729	3,023	2,294
財務活動によるCF	△2,434	△2,821	△386
純キャッシュ増減	△1,706	202	1,908
現金及び現金同等物残高	8,909	13,784	4,874

■24年3月期第2四半期キャッシュフロー主な内訳■

	23年3月期 第2四半期	24年3月期 第2四半期	増減額
営業活動によるCF			
・税金等調整前四半期純利益	2,972	3,210	237
・減価償却費	3,008	2,888	△120
・運転資金	△3,190	△362	2,827
・その他	△750	△514	236
投資活動によるCF			
・固定資産の取得	△1,682	△2,132	△449
・固定資産の売却による収入	607	123	△483
・その他	△235	△190	45
財務活動によるCF			
・配当金の支払額	△925	△1,039	△113
・有利子負債増減	△1,503	△1,777	△273
・その他	△5	△4	0



※フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

24年3月期通期 連結業績計画

- ・下期の当社グループを取り巻く環境は、お客様の節約志向の高まりや原材料・燃料価格の高止まりが想定されるなど、引き続き厳しい状況が続くと思われまます。
- ・このような状況のなか、当社グループは「お客様第一」「コンプライアンスの徹底」「安全と品質の追求」により、安全で安心な食品の提供に努めると共に、業容の拡大と安定的な収益体質の構築に取り組んでまいります。
- ・以上の結果、24年3月期業績計画は、期初の計画を変更しておりません。

◆通期見通し

(単位:百万円)

	23年3月期			24年3月期						
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期計画	前年同期比増減額	前年同期比増減率	通期計画	前年比増減額	前年比増減率
売上高	99,148	99,604	198,752	100,596	104,404	4,800	4.8%	205,000	6,248	3.1%
営業利益 (売上高比率)	3,246 (3.3%)	2,478 (2.5%)	5,724 (2.9%)	3,314 (3.3%)	2,486 (2.4%)	8 (△0.1%)	0.3% -	5,800 (2.8%)	76 (△0.1%)	1.3% -
経常利益 (売上高比率)	3,282 (3.3%)	2,540 (2.6%)	5,822 (2.9%)	3,380 (3.4%)	2,520 (2.4%)	△20 (△0.2%)	(△0.8%) -	5,900 (2.9%)	78 (0.0%)	1.3% -
当期純利益 (売上高比率)	2,695 (2.7%)	1,159 (1.2%)	3,854 (1.9%)	2,734 (2.7%)	1,166 (1.1%)	7 (△0.1%)	0.6% -	3,900 (1.9%)	46 (0.0%)	1.2% -
1株当たり 当期純利益	20.38円	8.78円	29.18円	21.05円	8.97円	0.19円	2.2%	30.02円	0.84円	2.9%
1株配当	-	-	8円	-	-	-	-	8円	-	-

(注) この資料に記述されている計画数値は本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって計画数値と異なる場合があります。

24年3月期通期 セグメント別 連結業績計画

(単位:百万円)

	23年3月期			24年3月期						
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期計画	前年比増減額	前年比増減率	通期計画	前年比増減額	前年比増減率
加工食品事業	72,790	72,470	145,260	74,616	76,484	4,014	5.5%	151,100	5,840	4.0%
食肉事業	26,145	26,910	53,055	25,779	27,721	811	3.0%	53,500	445	0.8%
その他	212	223	435	200	200	△ 23	△10.3%	400	△ 35	△8.0%
連結売上高	99,148	99,604	198,752	100,596	104,404	4,800	4.8%	205,000	6,248	3.1%
加工食品事業 (売上高比率)	2,984 (4.1%)	2,211 (3.1%)	5,195 (3.6%)	3,125 (4.2%)	2,215 (2.9%)	4 (△0.2%)	0.2% -	5,340 (3.5%)	145 (△0.1%)	2.8% -
食肉事業 (売上高比率)	177 (0.7%)	168 (0.6%)	345 (0.7%)	101 (0.4%)	189 (0.7%)	21 (0.1%)	12.5% -	290 (0.5%)	△ 55 (△0.2%)	△15.9% -
その他 (売上高比率)	84 (39.6%)	99 (44.4%)	183 (42.1%)	87 (43.5%)	83 (41.5%)	△ 16 (△2.9%)	△16.2% -	170 (42.5%)	△ 13 (0.4%)	△7.1% -
営業利益 (売上高比率)	3,246 (3.3%)	2,478 (2.5%)	5,724 (2.9%)	3,314 (3.3%)	2,486 (2.4%)	8 (△0.1%)	0.3% -	5,800 (2.8%)	76 (△0.1%)	1.3% -

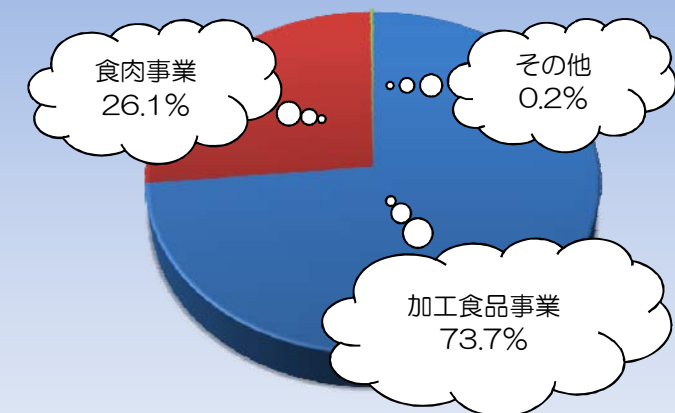
■加工食品事業■

・加工食品事業は、商品開発力の強化、コスト競争力の向上を推進してまいります。また、積極的な販売活動の展開により、当社ブランドの育成と浸透を図り、売上の拡大に努めてまいります。

■食肉事業■

・食肉事業は、食肉全般の需給動向を的確に捉え、消費者や顧客のニーズに合致した食肉販売の推進により、売上の拡大に取り組んでまいります。

セグメント別売上高構成比見通し



(注) この資料に記述されている計画数値は本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって計画数値と異なる場合があります。



主カギフト

王霸 (おうは)

大切に想うあの方に

じっくり熟成させ、豚肉本来の旨みを十分に引き出した、「特定JAS規格」商品を中心とした詰め合わせです。



煌彩 (こうさい)

笑顔が集うファミリーに

JAS特級規格を中心としたいろいろな美味しさを、ボリュームたっぷりに詰め合わせました。



燻製屋熟成ウインナー

お肉の旨味をじっくりしっかり引き出す72時間熟成製法。



いつも新鮮ロースハム



フィッシュソーセージ



切落し生ハム



食品産業技能功労賞受賞



スンドゥップシリーズ



TAPIOCA TIMEシリーズ



旨味工房シリーズ



本場韓国の辛味調味料「タデギ」を使った本格スープをベースにしており、本場の味を簡単にご賞味いただけます。

カフェで過ごすような、ほっとくつろぐ時間を提供するデザートです。

SWEET CAFEシリーズ



ヨーグルト



ハム・ソーセージ部門

加工食品事業

調理・加工食品部門

marudai 丸大食品

本資料の記載内容には、将来に関する計画や戦略、業績の見通しの記述が含まれています。これらの記述は現時点で把握可能な情報等から得られた当社の判断に基づいております。また、これらの見通しには潜在的なリスクや不確実な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績は、記載の見通しとは異なる可能性があります。